

第12回国労東日本マラソン大会開催

水しぶきを上げながら選手激走!

個人は 水戸地本・伊王野選手が V2達成 駅伝は 長野Aチームが V3達成



個人5km マラソン



駅伝マラソン

雨降る11月10日(土)、国労東日本本部は第12回マラソン大会を皇居外周にて開催しました。レースには個人5キロ(1周)マラソンには60人、駅伝マラソン(4周)には18チーム、12歳から67歳までランナーのべ190人が参加し、自慢の脚力を競い合いました。

尚、個人マラソンは水戸地本・伊王野選手が昨年に続いての連続優勝! 駅伝は長野地本Aチームが見事V3を達成しました。今号は、マラソン大会・貨物年末闘争を特集しました。

朝からの雨、時より大粒の雨が容赦なく地面に水溜りを作る悪コンディション・・・、大会参加者の結集を心

配する大会事務局をよそに、急遽こしらえた人間の柱によるテントには受付時間を待っていたかのように続々と最終エントリーする各チームキャプテン。

傘の花咲く開会式は、前回大会優勝の長野地本Aチームによる優勝杯の返還・選手宣誓で第12回マラソン大会が開会、選手の緊張感はいやがうえにも高まり目つきは戦闘モードに突入。

伊藤委員長のホイッスルと同時に一斉にスタートした個人5キロマラソン参加の60名のランナーたち、「誰が最初に帰ってくるのか・・・」

滑って怪我をしなければいいな・・・との大会事務局の心配をよそに、先頭で帰ってきたのは水戸地本・伊王野資保選手、昨年に続いての雨の中のレースを見事制して1着でゴールイン。

想外の1チーム参加が増えるの18チームでの戦い。ホイッスルと同時に第1区のランナーが一斉にスタート。1周するごとにトップが入れる替わる白熱のレース。

優勝チームを待ち受けるゴールテープ。なんと先頭で桜田門をくぐってきたのはゼッケン番号9・長野地本Aチーム、そのまま一直線にゴールし大会V3を勝ち取った。

(尚、各人賞者・チーム、駅伝区間賞・特別賞受賞者は別掲の通り。)



V2

1位	伊王野資保	水戸	土浦地区分会	19分10秒
2位	加賀耕三郎	新幹線	東京第一車両所分会	19分31秒
3位	高橋 正人	仙台	車体分会	20分15秒
4位	高橋 龍治	東京	田端機関区	20分18秒
5位	南幅 清也	仙台	組立分会	20分46秒
6位	大知里 正	仙台	車体分会	20分54秒

個人5km 駅伝

1位	長野Aチーム	1時間16分43秒
(轟勝・平塚隆・関口修・傳田光弘・町田幸男・徳武雄一)		
2位	かながわチーム	1時間18分4秒
(長谷川雅次・蒲生傳・鈴木良雄・越智隆・神田順二・吉田孝志)		
3位	国労仙台Aチーム	1時間18分10秒
(佐々木晴基・南幅清也・高橋正人・高橋真人・内館弘明・佐藤勝成)		



V3



特別賞

1区(5 km)	東貨協チーム	小保方孝司	17分36秒
2区(2.5 km)	盛岡地本チーム	吉田雅美	8分29秒
3区(2.5 km)	国労仙台Aチーム	相川政美	9分12秒
4区(2.5 km)	国労仙台Aチーム	高橋真人	9分3秒
5区(2.5 km)	長野Aチーム	町田幸男	9分27秒
6区(5 km)	ALL秋田チーム	小野雄志	18分44秒

最高年齢賞	67歳	菅野信隆 (品川車掌区OB)
最低年齢賞	12歳	保泉亨伸 (高崎地本家族)
女性ランナートップ賞		菅原芳子 (仙台地本)

区間賞

国労東日本

(組合員の購読料は) 組合費に含まれます

港区新橋5-15-5 交通ビル
 国労東日本本部
 発行責任者 伊藤秀樹
 編集責任者 伊藤隆夫

No. 666 定価 20円

2007年 11月 30日

もう一人の仲間を国労へ

マラソン大会 特集
貨物年末闘争

年末手当獲得 貨物総行動



11月13日に、年末手当獲得に向けて貨物総行動が行なわれました。当日、貨物本社前には200余名の仲間が結集し、全貨協本元副議長の司会で集会が進められ、最初に主催者代表として挨拶は、現在、進められてい

る貨物の和解について貨物会社との健全経営には協力していくが、労働組合として主張すべきは主張していくと述べ、年末手当については会社の経営動向もあるが、労働者のみ負担をかけるのではなく、働き甲斐のある貨物会社にしていかなければならぬ、「新人事・賃金制度」の導入もされようとしている、

本部も最後まで闘う決意を述べた。続いて、東日本本部松井副委員長からは東日本会社との年末手当状況と一括和解後の運動をどう取り組んで行くか等挨拶がされ、全貨協星野議長からは貨物

会社との2回の交渉経過が報告され、貨物会社は上半期の収入動向について、中越沖地震と3回の台風で、改めて計画との乖離を強調し年末手当を抑え込む姿勢を鮮明にし

ている。16日に第三回の交渉が開催されますが、全貨協も先頭に立ち闘う決意を表明した。東京地方本部からは、稲荷執行委員から挨拶を受け、各地方貨物協と闘争団（神宮議長）からそれぞれ決意表明が述べられ、最後に東貨協長島副議長の前頭で年末手当満額獲得、貨物会社は、私達の要求にこたえるよう貨物本社に向かってシュプレヒコールと団結ガンバ



ローで貨物本社前行動を終了した。



東日本松井副委員長

国交省はJR貨物「アクシヨンプラン」「ソリューションチーム」を積極的に後押ししていくとし、平行在来線支援については大臣に進言していく、また、モーダルシフト等今後も恒久的に支援については、鉄道一社しか無く補助は何時までかと言われている。旅客との問題は話し合って頂きたいとの内容で要請を行った。

「貨物政策」実現に向けた 国会議員・国土交通省 要請行動

午後からは、衆・参国会議員・国土交通省に対し、①インフラ整備・老朽化車両等の更新に向けて、公的支援の拡充、新たな無利子融資枠の検討、税制上の特例処置の拡充、②整備新幹線建設に伴う第三セクター会社の経営支援の拡充、線路使用料等新たな負担が生じないように講じていただくこと、2点に対しての要請を行ないました。

議員要請については国会が会期中の為、議員が居なく秘書対応となりました。国交省要請について、

院内での学習会 成果主義賃金と闘うか

院内学習会には講師に三木陵一氏（全日本金属情報機器労組書記長）を招いて「成果主義賃金と

約、1時間の講演を受け参加した組合員は、大変わかり易く今後の闘いにいちづける学習会でした。

がん予防・検診から治療まで、とことん支援！
ご契約は満60歳まで

健康支援金をプラス！
通院も入院も同額保障に！

がんの保障 + 病気・ケガの保障
21世紀がん保障 特約MAX21

新健康応援団MAX
メディカルチェック+

募集代理店
アベニール 株式会社 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

〈引受保険会社〉
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第三営業本部 第三支社
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1889 Fax.03-3344-4036

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
◎詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。